

共創で支える、 ケアラーと子ども・若者たちの未来

一般社団法人MilkyWay 代表理事 小林 貴喜





一般社団法人MilkyWay

看護師、社会福祉士、行政書士、精神保健福祉士、薬剤師、歯科医師、介護福祉士、介護支援専門員、公認心理師、保育士など福祉等に関係する専門職やエステティシャン、ペインター、飲食店、店舗、企業など多様な業種の会員やボランティアが集まり、あらゆるケアする人をケアすることを目的とした団体です。任意団体から令和7年1月に法人化。

- ・ 少子高齢化、家族機能の希薄化（核家族化、単身・独居・共働き家庭・ひとり親家庭などの増加、価値観の多様化、8050問題等）
- ・ 医療・介護・福祉の**人手不足と疲弊**（専門職のシャドーワークの増加は、質の向上や理想を大切にするあまり善意ややりがいの搾取になっているのではないかという声も）
- ・ **縦割りの行政機能や支援制度の空白**（介護や障がいなど介護を受ける人の支援はあるが、ケアラーへの支援が不足など）
- ・ 医療・介護・福祉だけでなく、教育機関・企業・地域等とも**連携していく難しさ**
- ・ **社会的理解の不足**（個人の問題、家族の問題という意識）
- ・ 助けが必要と思われる人の**受援力の弱さ・孤立化**
- ・ 介護される人の**自立支援や在宅医療・介護の推進**（時々入院、ほぼ在宅）

ケアラーの増加と過重負担となる社会的背景

最期まで住み慣れた地域でその人らしくという地域包括ケアシステムの理念はすべての人に
→誰一人取り残さない社会へ

ケアラーの状況

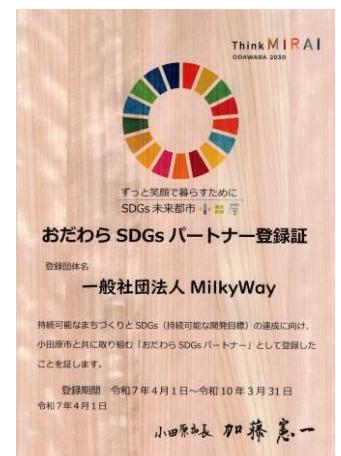


- **身体的・精神的負担の増加**：在宅介護では、日常的な介助や見守りが必要となり、ケアラーの生活や健康に影響を及ぼします。特に夜間の対応や急変時の不安は大きなストレス要因です。
- **意思決定の重圧**：本人の希望を尊重する一方で、医療・介護の選択を迫られる場面が多く、ケアラーがその判断を担うことになります。ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の導入が推奨されています。
- **社会的孤立と経済的負担**：介護のために仕事を辞めたり、外出が制限されることで孤立感が強まり、経済的にも困窮するケースがあります。



民間によるケアラー支援の意義

ケアラーの心身の健康維持は、介護される本人の生活の質の向上にもつながる
企業にとっては「人的資本の保全」、行政にとっては「地域福祉の安定」に貢献。
ですが、法制化が進まず公的な支援がされ難い。



福祉×教育×介護クロスオーバーフェスタ！ ケアする人をケアするつながりは無限大∞

令和8年度は不登校支援の団体と行政と協働して
イベントを開催予定！
協働していただける企業様も募集！



ケアラーズカフェLuana
2026年からオンライン
ケアラーズカフェLino
毎月1回 日曜日 午後

ケアラー講演会
講師：日本ケアラー連盟
理事の田中悠美子さん

2025年2月2日

共創で支える、ケアラーと子ども・若者たちの未来

MilkyWayの取り組み



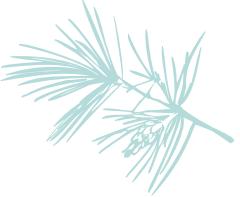
ヤングケアラー×保護猫の映画
「猫と私ともう1人のネコ」上映会
祝大輔監督と西智弘医師の対談

2025年8月18日



バザー、ハンドケア
古民家カフェでコンサート
などを開催して発信

年2～3回



家族を思う気持ちが未来を
諦める理由にならない社会へ

ケアを担う若者に選べる進路
と支え合える地域を

介護離職を防ぐカギは“ひとり
で抱えない”という選択

一般社団法人MilkyWay



令和6年度かながわみんなのSDGs賞を受賞



みんなのSDGs

企業規模：一般社団法人／業種：福祉／地域：県西地域

あらゆるケアする人をケアする「ケアラー支援」（一般社団法人MilkyWay）

取組の概要

福祉等の知識や様々な経験を活かし、あらゆるケアする人をケアする「ケアラー支援」を行う。本音と弱音が言える場づくりとしてのケアラーズカフェ Luanaや講演会等を開催することにより、ケアラーは自己認識しサポートを求めることができ、一般の方はケアラーの理解を深められる。誰もが誰かをケアできるまちづくりを行っていく。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

少子高齢化、核家族化が進む中、課題は複雑化している。障がい者や高齢者など当事者への支援はあるが、ケアする側の支援はなく疲弊・孤立する姿がある。福祉等の人手不足は深刻で介護崩壊の危機も耳にする。今後、ケアする人達の負担はさらに大きくなり、ヤングケアラーや介護離職などの課題が常態化することが危惧される。

解決に向けた具体策と成果

ケアラーズカフェを月1回開催。ケアラーに関する講演会、映画上映会等を行う。チラシや広報誌等を公共機関、病院、店舗等に配架。支援団体のネットワークづくりを行いコンサートやバザーでは幅広い層にケアラー支援を伝えている。

取組による定量的な効果

ケアラーズカフェの横の繋がりとして連携2箇所。ケアラーズカフェ Luanaで会員を含め11月迄に延べ98名の参加実績！

取組のポイント

ヤングやビジネスなどのケアラーのほか、ケアの仕事をする人や従業員のケアが必要とされる責任者等も含まれる。

